

議 事 録

1. 会議の名称	池田市史編纂委員会
2. 開催日時	令和7年8月6日（水） 午前14時00分～16時00分
3. 開催場所	市役所 6階 第4会議室
4. 出席者 ※委員長：◎ 副委員長：○	《委員》 小田 康德（◎） 野高 宏之（○） 田中 晋作 松永 和浩 〈事務局職員〉 藤井教育長 小林教育部長 前野生涯学習推進室長 細谷歴史民俗資料館長 高野主幹 山本主事
5. 議題	（1）令和7年度の事業予定及び進捗状況について （2）歴史的公文書の保存について （3）今後の市史編纂事業について （4）その他
6. 議事経過	別紙のとおり
7. 開・非公開の別 ※非公開の理由	公開
8. 傍聴者数	0名

開 会

教育長 委員の皆様には池田の市史編纂事業の審議に当たっていただいていること、心より感謝申し上げます。またこの度は、委員の委嘱を受けていただき、これも重ねて、心より感謝申し上げます。

今年度 4 月に市史編纂業務が、社会教育から歴史民俗資料館に移管された。歴史民俗資料館に専門職員を集約し、資料情報と利用の共有を進め、より効果的に充実した業務を行うように努めているところ。また社会教育との連携も続けており、今月末には市役所 1 階ロビーで、文化財担当と共同展示を行う予定。委員の皆様のご協力のもと着実に実績を積み上げているものと感じている。今後とも引き続き、より充実した編纂事業となるよう、ご審議いただきたいと考えている。

(1) 令和 7 年度の事業予定及び進捗状況について

事務局 昨年度は市史編纂委員会を 2 回開催。資料収集・調査・整理を実施した。広報については、『広報いけだ』やホームページでの情報発信を行っている。昨年度は中央公民館との連携講座を実施し委員にご講演いただいた。今年度も講演を実施する予定。その他のも概ね昨年度と変わりはない予定。

委員 市史編纂事業が職員ごと移管になったということだが、スペース的には大丈夫か。

事務局 何とか工夫しているが作業スペースや打ち合わせスペースが不足している。

委員長 市民のサロンのような場所にしていってほしい。

委員 旧図書館等での資料の保管や管理は苦勞せずできる環境を整えてもらいたい。

(2) 歴史的公文書の保存について

事務局 昨年から始まった歴史的公文書の選別作業について。選別件数が昨年度 1,228 件だったのに対し、今回 1,514 件、歴史的公文書に該当するものも 11 件から 14 件と増えている。選別のための期間は 2 週間から 2 か月と大幅に増えたが、その分提出が遅い課もあり、作業負担はかなり重い。

委員長 選別した後に原課に説明をしたり、職員に文書の意味を伝える必要がある。研修などにも必要なのではないか。

事務局 研修の必要性は感じている。行政管理課主催で研修も予定されている。

委員 電子決裁が進み文書がデータになると更新などはどうするのか。

事務局 池田市単体だけではなく複数市で電子決裁システムを導入した経緯がある。今後どう更新していくか、歴史的公文書をどう位置付けて保存していくか、これからの課題になる。

委員 選別作業に伴う事務局の負担増も心配だ。

(3) 今後の市史編纂事業について

事務局 これまでの市史編纂事業で収集した資料の整理を進めることを第一に考えているが、市民への還元も必要。その一つとして池田の歴史のダイジェスト版の作成を検討している。対象は小学 5 年生から大人まで。『池田市歴史文化基本構想』の歴史部分の記述を参

考に作成したい。基本的には事務局が作って先生方にご意見をいただく形にしたい。

委員長 子どもや大人まで読める簡単なものを作ることは意義がある。私は市史編纂委員会が主体となって執筆することを考えている。執筆者に原稿料をお支払いし、刊行して希望者に販売したい。

事務局 副読本のような位置づけにするなど色々な視点で検討したい。

委員 用途は広くしすぎず、絞った方が良い。活字離れも想像以上に進んでおり、それも含めた方向性をしっかり固めて作らないと難しいのではないかな。

委員長 ダイジェスト版以外にも、これまでの市史を総括するようなことをしたい。過去の市史でどのような成果が出たかを明らかにしたい、また『新修池田市史』がどのような位置づけなのかも明らかにしたい。

委員長 今後も意見交換や協議し、方向性を決定したい。

閉 会